

議長賞

明るい社会のためつながりを大切に

堺市立 福泉小学校 六年

大平 莉樹斗

社会を明るくする運動と聞いて、まず僕は人ととの関わりが大切だと思いました。特に世代をこえた人との関わりや、地域の人達との関わりです。

一つ目は、地域で子供達と関わってくれている近所のおばちゃんがいます。そのおばちゃんは、近所の公園を毎日そうじしてくれています。花を季節ごとに植えてくれたりもしています。僕もそのおばちゃんに声をかけられ、学校に行く前に友達とゴミ拾い

を手伝つたり、花を植えるのを手伝つたことがあります。多くのゴミは、おかしのゴミやペットボトルなど子供達が放課後遊んだ後に捨てていったゴミです。ただ毎日のようにおばちゃんがゴミを拾つてくれているのに、次の日にはまたゴミがたくさん落ちてきます。それを見て僕は残念な気持ちになりました。それから自分自身はゴミを絶対に持ち帰るし、友達にもその辺に捨てずにちゃんとゴミ箱に捨てるよう声をかけようと思いました。そしていつか近所のおばちゃんがゴミ拾いをしなくても良い日がくることを願っています。そのおばちゃんは、それ以外にも働いている

お母さんの代わりに近所の子供を保育園に送つていってあげたりしているのも僕は知っています。そんな風に、家族でもないのに周りの困っている人のために、手伝つてあげれるおばちゃんはすごいなあと思うし、その助けてもらつている近所の人もものすごくありがたいだらうなあと思います。そんな風に家族でもない誰かのために、お手伝いやそうじなどをできる人が、たくさん増えれば明るい社会になつていくと僕は思います。

も残していくことが明るい社会、明るい未来のために必要だと思います。

三つ目は、学校で最高学年の六年生になり、一年生のそ^うじの手伝いや、朝の用意の手伝いに行つたりすることが増えました。

三か月で、顔や名前を覚えてくれる一年生が増えました。一年生にとつたら、知っているお兄ちゃんお姉ちゃんが増えることは、普段の登下校や放課後遊んでいる時に見守ってくれる存在が増えるので、安心安全な社会につながると思います。

こんな風に、学年や年齢をこえたつながりが増えることや、地域の人々のつながりが増えることが日々の生活で安心安全につながり平和な社会、明るい社会に向かっていくことになると思います。そして僕もそのためにできることを、これからも続けていこうと思います。僕の目標は近所のお兄ちゃんみたいになることです。

